



森林環境譲与税を生かした 森林整備について



会派 チーム湖南 ● 松原 栄樹 議員

問 適切な森林整備を進め、国土や国民の命を守ることにつながる森林環境税・森林環境譲与税が創設されたことに対する市の見解は

答 こうした財源を基に大規模な災害から市民の皆様を守るため、山の再生を早急に図ります。

問 森林環境譲与税の用途は森林整備が基本であるが、公共施設の木質化や林業従事者の担い手確保など、具体的な考えは

答 来年度以降、森林境界明確化事業について強化していくが、このほか「森林を担う人材の確保」や「森林の有する公益的機能に関する普及啓発」など多角的な視点から事業を展開します。

問 体験活動は、豊かな人間性、自ら学び考える力などの生きる力の基盤、子どもの成長の糧としての役割が期待されています。

問 湖南省の現状は

答 学校・学年で同じ体験ができることから大変貴重な活動です。五感を働かせた自然体験、協調性・自立性を育む集団活動で課題を見つけ解決する探求学習など、それぞれの学校で取り組んでいます。

問 今後の取り組みは

答 体験活動を多く経験した子どもは、自尊心や外向性、自分の感情の調整などに生かされています。地域の方との活動、他校・異学年での学習、本物に触れる機会、自然の中での体験など、児童生徒が興味を持つ活動を工夫します。



行政の守備範囲の見直しについて



会派 チーム湖南 ● 加藤 貞一郎 議員

問 現下の厳しい財政環境の下では、「選択と集中」によりいかに限られた財源を最大限有効活用し「最少の経費で最大の効果を得る」という地方自治体経営の在り方が、今まさに問われています。

そうした中、本市においても多様化する市民ニーズに 대응するため時代の変化とともに新たな行財政改革のステージへの移行に向けて「第四次湖南省行政改革大綱」が昨年6月に策定されましたが、その実施に向けて行政が果たすべき役割の守備範囲の見直しの考え方について、お尋ねします。

答 行政改革大綱は、自助・共助・公助による協働・連携の仕組みづくりを基本理念とし、新たな時代に即した行財政改革として、特に

人口減少やさらなる高齢化で財政状況も厳しくなる中で、行政のスリム化あるいは新たな行政需要に 대응するため既存の行政サービスについても、その内容を検証し民間や地域で担えるものについては、積極的に移転して民間サービス化を図るなどして引き続き行政改革の推進に取り組みます。

問 児童の通学手段について

問 地域課題の一つとして、遠距離通学する児童の通学手段にスクールバスを活用することについてお尋ねします。

答 小学校の通学は、徒歩を原則としていますが、現段階では見送ることとしますが、引き続き通学環境等について多面的に検討を重ねていきます。